

経営計画

第4次経営戦略計画（略称:第4次マスタープラン） 計画期間:平成21年4月～平成24年3月

» 計画の狙い

『効率化・基礎固めの2年、飛躍の3年目』

当初2年間は、地元の成長分野（農業、医療、環境）を中心に、これまで行ってきた地域密着型金融をさらに強化します。あわせて、将来に向けた効率化・基礎固め、人材育成を推進します。そうすることで、3年目の飛躍を目指します。

» チャレンジ目標 ～平成24年3月期計画～

〈利益目標〉

業務粗利益 580億円以上（288億円）

コア業務純益 170億円以上（81億円）

当期純利益 90億円以上（45億円）

〈経営指標目標〉

OHR 70.0%未満（71.38%）

Tier1 ROE * 4.2%以上（4.29%）

自己資本比率 13.5%以上（13.79%）

Tier1比率 12.5%以上（12.54%）

$$* \text{Tier1 ROE} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{株主資本(Tier1)}}$$

（ ）は平成23年9月末実績。ただし、業務粗利益、コア業務純益、当期純利益は平成23年度中間期実績。

» 計画の体系

【企業理念】 ①健全経営 ②地域貢献 ③顧客志向 ④企業活力

【スローガン】 「わたしは、あなたの“かぎん”です。」
～笑顔のために、笑顔でお手洗い～
（親切・便利・安心の提供）

第4次マスタープラン

【基本方針】

当行の存在意義を確立する“S”の追求

〈お客様〉 お客様に満足(Satisfaction)いただくために、お客様一人ひとりにあった金融商品・サービスを、迅速に(Speed)提供し、存在感の高い銀行となります。

〈地域〉 地域のポテンシャルを引き出し、高めることにより地域経済の活性化(Economies Of Scope)に欠かせない存在となります。

〈株主〉 安定的な配当ができるよう、健全(Soundness)かつ永続的(Sustainability)に発展します。

〈従業員〉 従業員一人ひとりが高いやりがいを持って、笑顔(Smile)で働くことができる銀行となります。

【第4次マスタープランの“3つの柱”】

揺るぎない
営業基盤の確立
(営業基盤強化)

効率的な
企業活動の追求
(経営効率化)

現場力強化に
つながる人材育成
(人材育成強化)

法人部門戦略

個人部門戦略

業務部門戦略

市場部門戦略

企業力の強化